



平成23年度 北中物語 11号-II

平成23年7月5日発

文責:校長 中村 裕子

校長mail yuko-nakamura@staff.gsn.ed.jp

今号は2年生のみなさん・保護者様用の**特版**です。

来年の夏、本当に輝くために・・・

夏本番がやってきます。こんな時期にあえて、「桜」の話をして。桜は、誰もが知っているとおり、春にたくさんのきれいな花を咲かせます。しかし、その花は春になってから急に作られるものではありません。冬のうちから、人知れず蕾をふくらませ始めています。それどころか、実は桜が花の芽をつくるのは、前の年の夏なのだそうです。つまり、さくらは春に花を咲かせるために、前年の夏から長い期間をかけて準備をし、少しずつ成長し、それでようやくあのように美しい花を咲かせることができるのです。

部活動を例にとります。来年の夏、そう3年生最後の大会に思いを馳せてみてください。来年の夏、どういう自分でいたいですか・・・。そのなりたい自分になれるかどうかは、この夏にかかっているのです。桜の花と同じですね。ここに2年生の夏の大きな意味があるのです。単に、3年生に替わって、部活動の主軸になるということではないのです。

私はあえて、勉強のことは言いません。なぜなら、部活動と勉強は強い関わり合いがありますから、1年先の夏の自分の姿に向かって、部活動に本気になって取り組めば、自ずと勉強も向上するに決まっているからです。

7月です。この7月は来年の夏のためにあるのです。だいたいだいたいな7月の過ごし方、特に部活動には、さらに真剣にそして、はっきり理想とする姿を描いて取り組んでください。

義務教育9年間を一貫で考えると、今あなた方は現在8年生です。重みがありますよね。8年生とは、あと1年で学生としての義務が終わることを意味します。来年の夏への勝負は今、まさにこのときです。暑いからこそがんばるのです。暑いときにこそ、その人間の強さが表れます。暑いときこそ、地力がつくのです。〔真夏〕とはこういうことでしたよね)

保護者の皆様、この夏、いっぱい食べさせましょう。いっぱい苦勞をさせましょう。いっぱい悩ませましょう。いっぱい成長させましょう。この夏の取組は生涯ものをいうのですから・・・。

14歳の道を歩んでいるみなさんに送る応援メッセージ

夏の贈り物

焼けつくような夏の太陽 君を大きく成長させる
しかし、この夏は君に試練も与える
この夏、家庭の中で君を包んでくれる家族の愛情を感じるだろう
この夏、部活動の中で 可能性にかける 熱い期待を感じるだろう
この夏、地域にいて自分を見守る 温かい目を感じるだろう

どんな音楽を聴いても
どんな本を読んでも
どんな番組を見ても
君は 何かを感じ 成長するだろう
だれも気づいてくれなくてもいいんだ
自分でそれがわかるから

さあ 中2の夏が来た
いよいよ充実の夏の始まりだ
思いっきり暑さの中に身をおいてみよう 思いっきり心を弾かせてみよう
そこから 必ず「自信」という灯がともし始めるから
いままでの自分とは違う自分に出会えるから



公開します！ぜひお越しを。

7月次の活動を公開しますので、ぜひ、お誘い合わせの上お越しください。

7月11日14:30～ 於：体育館「藤岡多野中体連夏季大会激励会(全校)」

7月14日13:40～15:30 於：体育館「職業人から話を聞く会(2年)」

7月26日 8:40～9:30 於：体育館「県総体出場者激励会(全校)」